

北米の大学図書館における アウトリーチサービスの実態調査

—平成29年度国立大学図書館協会
海外派遣事業（長期）を通じて—

神戸大学附属図書館情報サービス課

総合・国際文化学情報サービス係

谷口 由佳

2018年6月14日(木) 京王プラザホテル札幌
国立大学図書館協会第65回総会 海外派遣報告

報告者について

- 2012年4月～2014年3月（2年）
神戸大学附属図書館 雑誌情報係
- 2014年4月～2018年3月（4年）
同 海事科学情報サービス係
- 2018年4月～現在（2ヶ月～）
同 総合・国際文化学情報サービス係

海外派遣について

- 2017年9月17日(日)～10月1日(日) (2週間)
国立大学図書館協会海外派遣事業(長期)

テーマ：

北米の大学図書館におけるアウトリーチサービスの実態調査

派遣先：

セントラルフロリダ大学図書館 (UCF Libraries)

UCF, UCF Libraries (2016年6月30日時点の概数)

- **学生数** : 66,000
- **教職員数** : 12,000
- **カレッジ数** : 13
- **図書館数** : 14 (中央キャンパス4、遠隔キャンパス10)
- **図書館員数** : 45 …ライブラリアン
70 …スタッフ
95 …学生アシスタント (SA)

Barbara Tierney氏 (研究情報サービス部長)



Barbara Tierney

📌 Department Head, Research & Information Services

🏛️ Research & Information Services

📍 John C. Hitt Library,
Room 203A

☎️ 407-823-5464

✉️ Barbara.Tierney@ucf.edu

Units & Groups: [Scholarly Communication](#)

John C. Hitt Library (中央館)



2018年6月14日(木) 京王プラザホテル札幌
国立大学図書館協会第65回総会 海外派遣報告

John C. Hitt Library (中央館)



2018年6月14日(木) 京王プラザホテル札幌
国立大学図書館協会第65回総会 海外派遣報告

アウトリーチサービスの定義

■ 従来

図書館サービスを、圏域内にいたにも関わらずサービスが及んでいなかった人々に広げていく活動（移民、障害者、非識字者、受刑者、入院患者など）

■ UCF Librariesにおける用法

カウンターでただ利用者を待つのをやめ、

図書館から出て利用者のいる場所へ向かう活動

（“From Reactive to **Proactive**”）

**物理的な拠点の移動(ハード)は必須でなく
教育・研究活動との一体化(ソフト)に着目**

アウトリーチサービスの内容

- **45% (18hours) : Subject Librarian Outreach**

→エフォート率45%、週に18時間を占める業務として
アウトリーチサービスが位置付けられている

- 担当の主題分野についての、

- 学科の会議への出席
- 教員との個人面談
- 個別相談や少人数ワークショップ
- eニュースレター・オンラインリサーチガイド作成
- 学術コミュニケーション支援 など

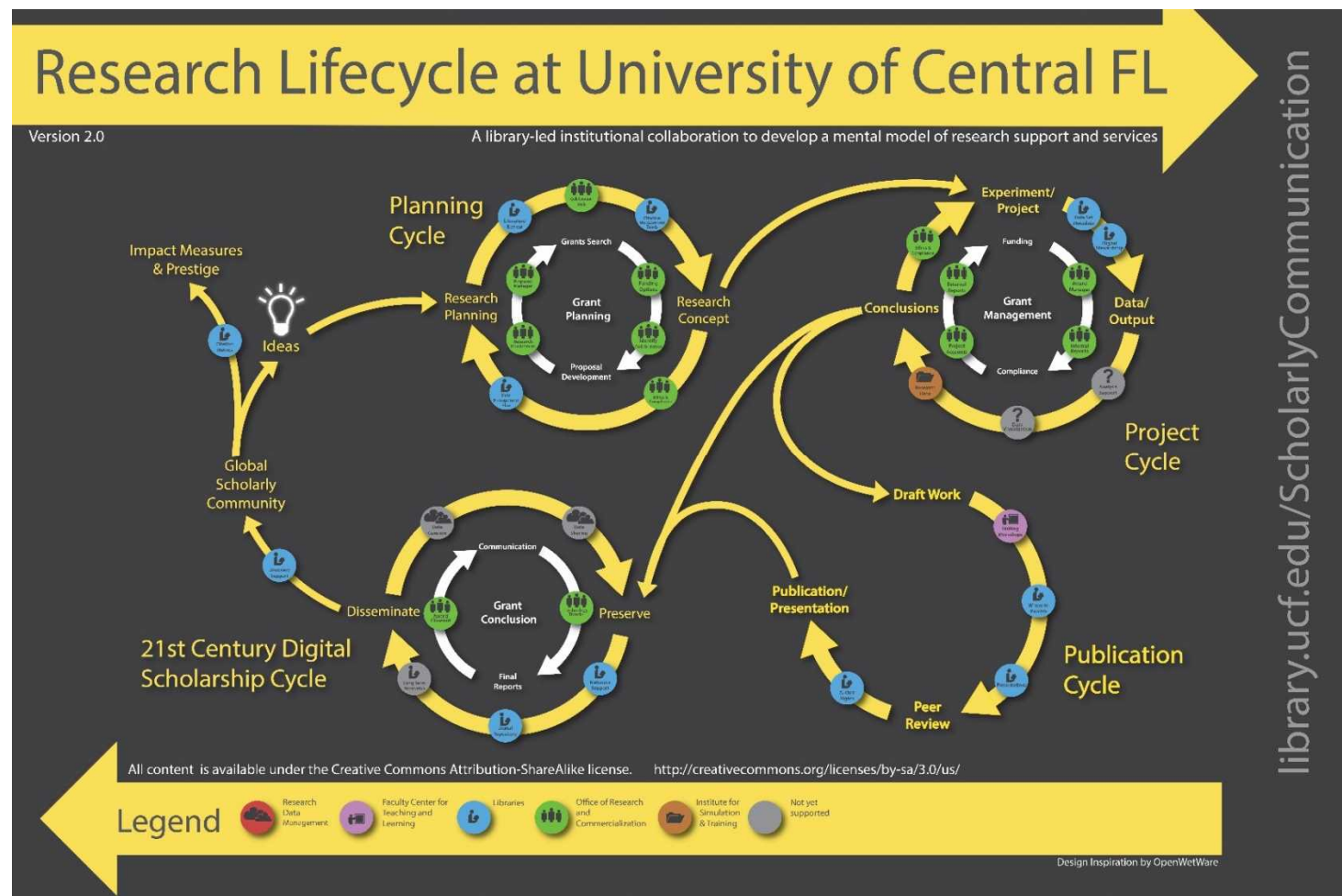
ライブラリアンの学習・教育支援

- **カリキュラムと統合された各種サービス、教材**
 - …情報リテラシーモジュール、リサーチガイドなど
オンラインリソースの役割も大きい
- **ライティング支援**
 - …論文執筆ガイドや文献レビューについて指導する
- **包括的なキャンパスライフ支援**
 - …学術的意義・図書館資料にこだわらない

ライブラリアンの研究支援

- 学術コミュニケーション
- ワークショップ開催
- 院生・博士研究員・研究助手へのアウトリーチ

学術コミュニケーション



2018年6月14日(木) 京王プラザホテル札幌
国立大学図書館協会第65回総会 海外派遣報告

ライブラリアンの研究支援

- 学術コミュニケーション
- ワークショップ開催
- 院生・博士研究員・研究助手へのアウトリーチ

学内他機関との協働

- **University Writing Center**

ピア・チューターによるライティング指導

- **Office of Undergraduate Research**

学士課程学生による研究の支援

- **Student Development and Enrollment Services**

学生生活全般のサポート

学外他機関との協働

- Ask a Librarian (AAL)



AskALibrarian.org 
the Human Search Engine

**I'M HERE TO FIGHT
FOR TRUTH, JUSTICE AND
BETTER RESEARCH SKILLS.
BECAUSE SEARCH ENGINES
NEED SUPERHEROES**

Chat with, text, or email a Florida librarian: because search engines need superheroes!

UCF Librariesの投資収益率 (ROI)

Return on Investment = 投資収益率
…**学生のGPA向上への貢献度**が指標

図書館サービスを利用する学生 = ユーザーと
ノンユーザーの学業成績を比較する

アウトリーチの前提となる活動

- Library Facultyとしての大学運営
- ライブラリアンと図書館サービスの一体的な広報
- 主題分野に関する研鑽

総括

- 北米の大学図書館において「アウトリーチサービス」に「館外への活発な進出」という用法が生じている。
- 大学の教育・研究や学生の成績向上に貢献するために、教員や学内他機関との協働がなされている。
- サービス内容・担当者の一体的な広報や、業務としての事前準備が役立っている。
- 条件が違う中で日本なりの「館外に出るきっかけ」「継続可能性のある活動」を考える必要がある。

派遣していただきありがとうございました



2018年6月14日(木) 京王プラザホテル札幌
国立大学図書館協会第65回総会 海外派遣報告